

まちぢから松林タイムス

令和元年
九月一日発行

茅ヶ崎松林地区
まちぢから協議会
広報部会

令和元年度

松林地区市民集会開催

松林地区をより住みよい地区に

七月二十七日土曜日、松林公民館にて松林地区市民集
会が松林まちぢから協議会主催で開催されました。
行政側より佐藤市長や担当部局の幹部職員にご出席いた
だき、地域住民と地域の現状や問題を共有し、地域課題
の解決に向けた話し合いが行われました。

まちぢから協議会 細田会長お話し

日頃は地域のイベントや
防災・子供の見守り等幅広
く皆様方の協力をいただき、おかげさまで松林地区
は治安が良く安定した地域
であります。あらためて皆
様にお礼申し上げます。
オレオレ詐欺(特殊詐欺)
について、茅ヶ崎全体では
6月末時点で昨年は47件
発生、今年は一七件くらい
となっております。昨年まで
は神奈川県下でもワースト
クラスでしたが、今年逆

に良いほうのトップクラス
の成績であります。松林地
区は6月末時点で昨年は6
件、今年は0件で推移して
おり、これは三位一体の取
り組みが効を奏したもので
す。
子供関連の犯罪はこのと
ころ悪いニュースが多いで
すが子供の安心安全は大切
であり、こうした犯罪に子
供が巻き込まれないようご
協力願います。我々も気を
引き締めて取り組んでいき
たいと思います。
本日は佐藤市長、副市長
教育長、関係部長さんに出
席戴き大変ありがとうございました

佐藤市長お話し

本日は担当部署よりしつ
かりと回答させていただき
ます。
松林地区は子供の見守りも
しっかりとしていると聞いて
おりますが更に住みよい松
林地区となるよう、よろし
くお願いいたします。本日
は他地区からの見学者も来
ています。地区ごとに要望
は異なりますが、お互いの
要望を共有することはお互
いの地区の力になり、茅ヶ
崎市としてもより良くなる
と確信しています。



松林いきいきひろばの創設について

新湘南バイパス高架下を
活用した公園化計画につい
ての提案です。

(1) 提案についてどのよ
うに評価されているか、ま
た、取り組み状況について

【市の回答】

県内でも公園面積が少な
い状況で、高架下を活用す
ることは非常に有効な手段
であると考えており、大い
に注目しています。
取組状況は現在のところ、
可能性を見出すことができ
ていません。

(2) 遅々として提案内容
が前に進まない原因は何か。

【市の回答】

高架下管理者の国土交通
省からは、今後、中日本高
速道路株式会社に移管を移
管する予定であること、将
来都市計画道路藤沢大磯線
が整備される予定であるこ
と等、利活用に関する課題
が指摘されております。
利活用についての可能性
が見出せない主な要因は、
移管協議が法的、財政的
な理由等により難航してい
るためと伺っております。

今後地域の皆様と共に、
過去に発生した利用者と同
隣住民とのトラブルについ

て具体的な再発防止策をま
とめ、国に報告するととも
に、管理移管協議を加速さ
せるよう要請する一方、現
状の管理体制においても粘
り強く交渉を進めたいと考
えております。

【市の回答】

(3) 今後の取り組みを推
進するための地域へのアド
バイスはどのようなことが
考えられますか。

【市の回答】

ごみの有料化と戸別収集について

2年前より「ごみの有料
化と戸別収集」セットでの
実施を要望してきました。
去る6月のまちぢから協
議会連絡会に「ごみ減量化
に向けた施策について」の
提案が出されましたが、戸
別収集については諸々を調
査した結果4億円の経費が
掛かり、戸別収集を望まな
い意見があるため導入を見
送ったとされています。

昨年「ごみ処理の課題」
に関する意見交換会等を実
施しましたが、どのような
意見が出され、どのような
分析をされたのでしょうか。
また、昨年の8月に服部
前市長より茅ヶ崎市廃棄物

利活用についてのルール
作りや日頃の管理、運営方
法等の検討をしていただく
ことが考えられます。さら
には過去のトラブルについ
て、地域の皆様や特に近隣
住民の方々には再発防止策
をしつかりと示し、
御理解や
御協力を
いただく
必要もあ
ります。



新たに実施する剪定枝の
資源化についてお尋ねしま
す。去る5月末に上赤羽根
地区住民を対象にした(仮
称)茅ヶ崎バイオマス発電
所事業計画の説明会があり
ました。この件について説
明をいただきたい。

【市の回答】

平成29年度以降実施し
た意見交換会では様々な御
意見をいただき、内容は有
料化と戸別収集の導入の是

非に関する御意見を始め、多岐にわたっており、アンケートは、ごみの有

料化を「実施すべき」が全体の約6割、戸別収集の導入に関しては「実施すべき」が約4割ずつという結果です。いただいた御意見及びアンケートは、今後基本方針を取りまとめる上で十分に検証してまいります。

「ごみ減量に向けた施策について(案・概要版)」については、有料化等の施策は関心が高いことや、まちぢから協議会や単位自治会の皆様と意見を交わしてきた経緯から、審議会資料として公表される前にお知らせすることが必要だと判断したものです。剪定枝については、ごみ

コミュニティ施設建設の促進について

松林地区では、まちぢから協議会の活動拠点となる施設がない為、公民館の活用や空き家の利活用によって対応しておりますが、活動の幅が制限されているのが現状です。一刻も早く施設の建設について、具体的な方向を明示して頂きたく要望致します。

の排出抑制を推進するため、資源化を実施したいと考えております。

また、上赤羽根自治会を対象とした、(仮称)茅ヶ崎バイオマス発電所事業計画の説明会は、事業者が所定の手続を進める中で「茅ヶ崎市のまちづくりにおける手続及び基準等に関する条例」に基づき、当該予定地の周辺の住民の方々を対象に開催された認識しております。本案件は現在、事業者及び関係機関と協議を行っている段階となります。

資源化を進める中で、燃料や堆肥としての利用のほか、バイオマス発電の燃料としての利用についても合わせて検討し、令和3年度を目途に資源化を実施したいと考えているところです。

【市の回答】

市営高田住宅(2階建て)の土地はこれまで段階的売却の方針の下に取組を進めてまいりましたが、平成30年度に引き続き令和元年度も、建設要望地として御提案をいただいたことを踏まえ、その土地の一部を利活用する可能性について

再考したところ、合理的であると考え、建屋除却後に地域集会施設を整備することを中心に更なる検討を進めてまいります。

平成30年4月に改訂した「公共施設整備・再編計画」では、市営高田住宅に居住されている方の転居先の整備が終わった後の令和6年度に建屋除却を位置付けているところです。

しかし、コミュニティ活動の拠点となる場所の整備が喫緊の課題であり、また「公共施設整備・再編計画」改訂後に市営高田住宅の未利用住戸の増加といった直近の状況を踏まえた上で、既に入居されている方に配慮しながら、地域集会施設の早期整備の可能性について具体的な検討を進め、令和2年度に行う次期総合計画の実施計画の策定作業の中では、施設整備のための費用が計上できるよう、早期整備に努めてまいります。順調に検討と作業が進めば令和4年10月頃には工事着工の運びになると思っております。

一般質問質疑応答

子どもの安全確保について
質問者：下赤自治会安齋氏

今年5月8日滋賀県大津市の交差点で、無謀な右折車が原因で保育園児2名が亡くなるという交通事故が発生しました。

1、危険個所の把握とそれに対する対応
2、関係行政との連携による取り組み
3、見守りをしてくれているボランティアさんの把握
4、ボランティアさんの安全と保険
5、運転者への安全意識の高揚対策、子どもへの安全教育の充実

これらの現時点での取り組みや計画などについて教えて下さい。



【市の回答】

平成29年度から随時地元の見解を聴きながら交通危険個所の対応を行ってまいります。路面標示、カーブミラー設置など市で対応するもの、横断歩道選定など警察で対応するもの、その他県や国で対応するものを仕分けしながら子どもたちの安心安全を確保する所存です。

見守りのボランティアさんは自治会、PTA、推進協などの方々で、お申し出に

よりベスト、腕章、帽子などの貸与を市民安全部が窓口になって行っています。その他に市民からの申告によるボランティアさんの把握は市が行っています。

市民活動等災害保障制度を設けて、見守り活動中のケガや事故などに対する補償を行っています。この制度の利用については事前の登録や申請は不要で事故が起きてから市への連絡で大丈夫です。

全ての小中学校において交通安全教室を実施し、体験学習という形で交通安全意識の向上を図っています。大津市の事故をうけて、小中学校から半径200m以内の16ヶ所の交差点について安全性の緊急点検をおこない、その結果、松林地区内においては赤羽根中学校の南側の交差点について補正予算を組んで対策を講ずることとし、その他の交差点についても来年度以降の予算化を目指す予定です。

佐藤市長まよめ

松林地区は交通安全に関して、取り組みが大変素晴らしいことが分かりました。松林地区は子供の見守りをボランティアがやってくれ

て大変ありがたい。市では「茅ヶ崎子供未来応援基金」を作りました。これはおむすび松林等の子供見守り活動に資金援助を行うのが目的です。資金を提供してくれた方にもインセンティブがあるような制度設計を実施中です。

松林のいきいきのびのびランドについては、市と地域が一体となり、責任の所在を明確化したルールを作った上で、国に提案して決めていくこととしたい。

ゴミの有料化と戸別収集については、戸別収集には4億円/年の資金が必要となる。又、ゴミの戸別収集のため、現業の職員を増やすことも困難があります。本件は丁寧に市民に説明していくことが必要と考えています。

コミュニティ施設建設の促進については、本日の担当部局からの提案まで具体化してきました。さらにスピード感を持って進めることを誓います。

松林地区
まちぢから協議会
ホームページ